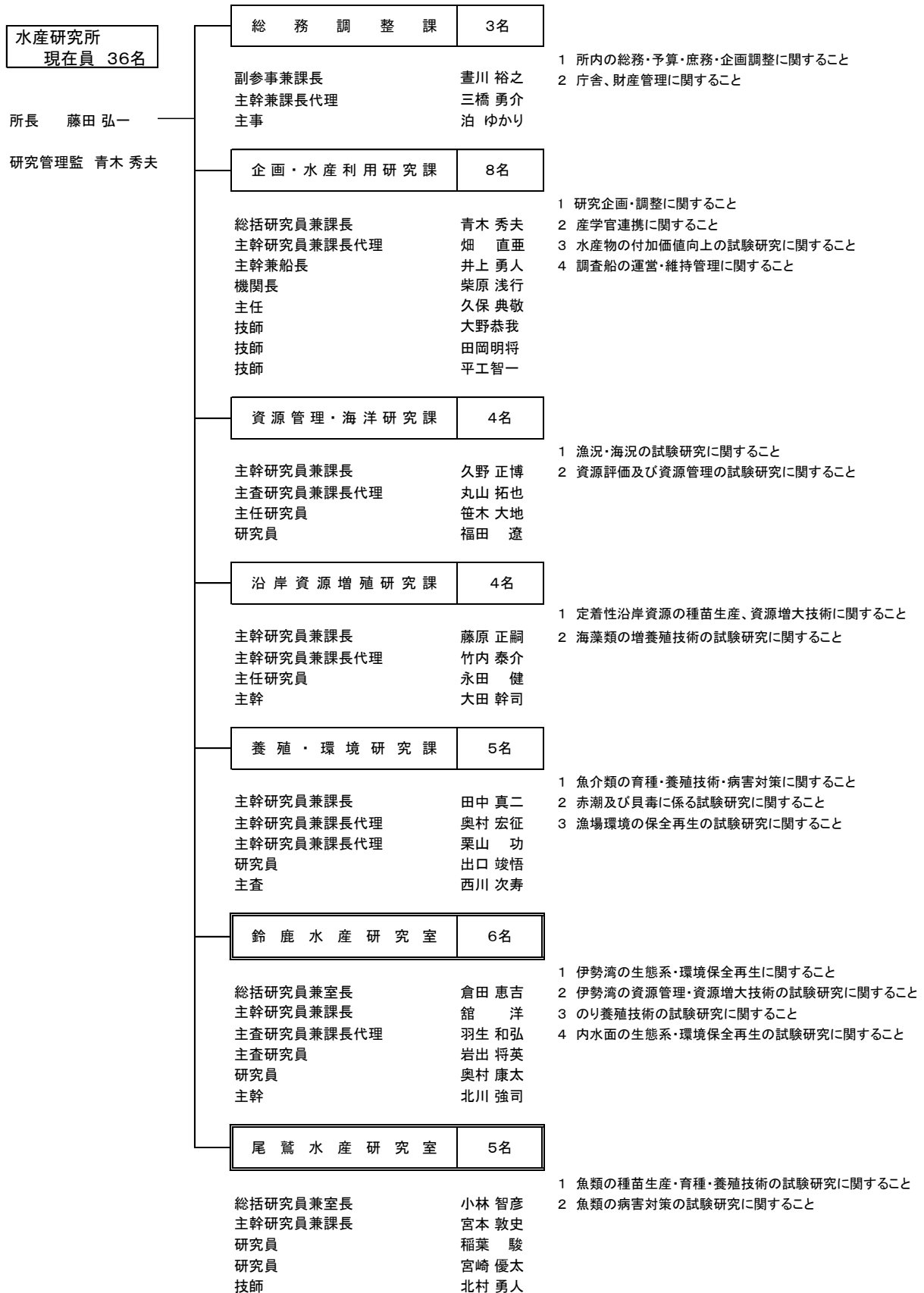


令和3年度

組織・人員配置等 事業概要

三重県水産研究所

令和3年度 水産研究所組織体制と事務分掌



令和3年度 水産研究所 事業概要

県単試験研究費

R3当初予算要求

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(施策 31102) 農林水産技術の研究開発と移転			
●水産関係県単経常試験研究費			
① 水産物付加価値向上研究事業	県産水産物の生物特性や季節変動を科学的に把握して高付加価値化の取り組みを支援する。また、未利用・低利用資源の新たな活用方法を探る。	企画・水産利用研究課	H31～R5
② イセエビ栽培漁業実証化事業	イセエビの行動生態に基づく漁獲パターンを解明するため、漁獲量と水温、月齢、波高等の環境条件との関係を解析する。また、資源量の推定のため、プエルルス及び稚エビの来遊量調査を行う。	沿岸資源増殖研究課	R2～4
③ 英虞湾漁場環境調査	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市補助】。	養殖・環境研究課	H30～R4
④ 内水面資源活用高度化研究事業	内水面漁業において最も重要な魚種であるアユを対象に、餌料環境調査や、冷水病対策およびカワウによる食害防止対策の情報収集と普及に取り組む。	鈴鹿水産研究室	H31～R3
⑤ 三重県産養殖魚の産地間競争力強化技術開発	養殖魚の身質向上や飼料費削減、養殖魚種の多様化など、県産養殖魚の産地間競争力の強化につながる技術の開発と普及に取り組む。	尾鷲水産研究室	R2～4

競争的資金等外部資金

●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・水産利用研究課	H17～
② 青のり養殖に関する技術開発事業	志摩市の重要産業であるヒトエグサの養殖について、安定生産につながる養殖技術の高度化に係る試験研究を行います【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29～R3
③ 新規栽培対象種技術開発事業	伊勢湾の重要な水産資源であるハマグリについて、人工種苗の放流効果を高めるとともに、母貝の保護・増殖技術を開発することでハマグリ資源の維持・回復を目指します【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H31～R5
④ 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業	低栄養状態でも色落ちにくいノリ品種の実用化を進めるための室内培養試験および養殖試験を実施する。【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～R3
⑤ 三重県産マガキ種苗の安定確保対策事業	三重県でこれまでに行われたマガキの天然採苗に関する知見をとりまとめるとともに、より効果的な天然採苗手法について検討し、県内産天然マガキ種苗の安定確保を図る。また、近年問題となっているへい死への対応を行う【三重県カキ養殖広域水産業再生委員会委託】。	養殖・環境研究課	H30～R3
⑥ (新規)鳥羽海域カキ養殖漁場環境調査事業	鳥羽海域のカキ養殖場において、漁場環境をモニタリングするとともに、得られた環境情報を養殖業者等に提供することにより、漁業被害の未然防止や軽減を図る【鳥羽市委託】	養殖・環境研究課	R3～R5

競争的資金等外部資金(続き)

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施 年度
⑦ (新規)マハタ優良種苗生産研究事業	マハタの優良種苗生産のため、形態異常の原因となる未開鱚個体の早期除去方法の開発、中間育成以降における形態異常の発生要因の解明、耐病性マハタの育種技術の開発に取り組む【水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	R3
⑧ (不採択)資源・漁獲情報ネットワーク構築委託事業	伊勢湾をモデル海域とし、漁業情報(漁獲量、努力量等)を迅速に収集できる体制づくりを進めるとともに、漁獲と環境(水温等)の関連を明らかにすることで資源評価の精度向上や漁業の効率化を図る【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H30～R3
⑨ (不採択)希少な日本産アコヤガイの保全と採苗技術開発に関する試験研究事業	天然のアコヤガイが確認されている海域において生息調査を実施するとともに、天然採苗と飼育試験を行い、天然アコヤガイの保全手法と天然採苗技術の開発に取り組む【全国真珠養殖漁業協同組合連合会委託】。	養殖・環境研究課	H29～R3
⑩ (不採択)アサリ生体内の遺伝子発現を用いた新たな環境評価指標の開発とそれを用いた砕石覆砂の適地選定の迅速化	アサリの増殖手法として有効性が確認されている砕石覆砂の適地選定の迅速化を目的として、アサリ生体内での遺伝子発現を基にした環境評価指標を開発します【生物系特定産業技術研究支援センター委託・不採択】。	鈴鹿水産研究室	R3～R5
⑪ (不採択)環境調和型スマート水産業支援研究事業	高水温等の環境変動に対応した安定的な漁業・養殖業を実現するため、IT技術を活用した生産効率化や養殖生物の育種に係る技術の開発を行う【科学技術振興機構(JST)事業・不採択】。	沿岸資源増殖研究課、養殖・環境研究課	R2～R3
●資源評価調査事業費 ① 資源評価調査事業	漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H12～
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類は国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H13～
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費 ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。	養殖・環境研究課	H30～R4

管理費等

●水産業試験研究管理費 ① 管理費	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	
●水産業研究施設機器整備費 ① 水産業研究施設機器整備費	水産研究所の研究施設や機器の整備を行う(R3年度は調査船あさまの定期検査)。	総務調整課	R1～R3

水産振興課執行委任

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施 年度
(14502) 農畜水産物の安全・安心の確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費 ① 養殖衛生管理体制の整備 ② 水産物の安全の確保	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。 貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。また、ヒラメクドアを含めた養殖水産動物および放流用種苗の有害微生物による汚染の検査とまん延防止対策指導を行う。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室 養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	H15～ S55～
(31401) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●スマート水産業実証体制構築事業 ① スマート水産業実証体制構築事業	新技術の導入による作業の自動化・効率化など、生産性や所得の向上、働き方改革につながるスマート水産業の実現に向け、三重県を実証フィールドとして、産学官で課題を共有し、知見や技術をすり合わせて取り組む体制づくりを進める。	企画・水産利用研究課	R2～R4
●次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業 ① 次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業	伊勢湾での持続的な黒・青ノリ養殖技術開発・技術支援を行うとともに、ICTブイ、人工衛星、海洋観測等で得られた伊勢湾の黒・青ノリ漁場の海況情報を、生産者へ実用性の高い形式で配信・共有できる新たな藻類養殖支援のための海況情報配信プラットフォームの整備を目指す。	沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	R2～R4
●環境調和型真珠養殖システム構築事業 ① 環境調和型真珠養殖システム構築事業	持続的かつ環境に配慮した真珠養殖システムを構築し、サステナブル、エシカルといった県産真珠のブランドイメージの向上を図ります。	養殖・環境研究課	R2～R4
●真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業費 ① 真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業	優良技術の継承や真珠の生産性向上のため、優秀な養殖業者の養殖技術の見える化及びICT等を活用したスマート化や環境予測技術の開発、導入などの技術開発に取り組む。	養殖・環境研究課	H31～R3
●魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業費 ① 魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業	三重県の魚類養殖業において他産地との競争力の強化と生産効率の向上を進めるため、養殖生産管理の自動化と最適化を行うAI・ICT技術の開発及び普及を図る。	尾鷲水産研究室	H31～R3
●法人化に向けた魚類養殖業の構造改革促進事業費 ① <u>(新規)法人化に向けた魚類養殖の構造改革促進事業</u>	飼料の低コスト化等、新技術による生産性の向上や、新魚種等によるリスクヘッジに向けた新しい魚類養殖の導入に取り組むとともに、魚類養殖法人化モデルの推進に取り組む。	尾鷲水産研究室	R3～R5

水産資源管理課執行委任

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(施策31401) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業 ① ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業	国が進める水産政策の改革に対応し、効果の高い三重県の沿岸水産資源の資源管理体制の実現を図るため、漁獲データを収集・解析し、資源評価委員会により、全国に先駆けた精度の高い資源評価を実施する。	資源管理・海洋研究課/ 沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H31~R3
●資源管理体制・機能強化総合対策事業 ① 三重県沿岸資源動向基礎調査事業	本県の沿岸水産資源について、漁獲実態や生態的特性を調査し、資源評価を行うとともに、各地区で取り組まれている資源管理計画の効果を検証する。【資源管理協議会からの執行委任】	資源管理・海洋研究課/ 沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H27~
●海女による豊かな海づくり事業 ① 海女による豊かな海づくり事業	サステナブルな海女漁業を次世代に継承するため、海女自身が海の環境変化に対応した藻場の効果的な管理やアワビの増養殖、漁獲物の魅力向上などに取り組む「海女による豊かな海づくり」を推進する。	沿岸資源増殖研究課	R2~R4

水産基盤整備課執行委任

(施策31403) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築			
●県単沿岸漁場整備事業費 ① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査	浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の蛸集状況等を調査する。	資源管理・海洋研究課	H24~
●錦工区イセエビ増殖礁効果把握調査	イセエビ増殖礁に求められる稚エビの加入機能及び増殖機能の条件を調査する。	沿岸資源増殖研究課	R2~R4
●海女漁業等環境基盤整備事業 ① 漁港内水域を有効利用したアワビ類増殖技術の開発	漁港内の静穏水域において、コンクリート板を活用したアワビ類等の中間育成や増殖技術を開発する。	沿岸資源増殖研究課	H31~R3
② (新規)藻場モニタリング事業	定期的な藻場のモニタリング調査により、藻場の増減の状況を把握するとともに、環境要因等との関係を解析し、藻場造成のための基礎的知見を得る。	沿岸資源増殖研究課	R3~R5
●伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業 ① 伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業	移殖用アサリ稚貝を採取する海域におけるアサリ稚貝の発生状況を調査するとともに、アサリに悪影響を及ぼすカイヤドリウミグモの生息状況を調査する。	鈴鹿水産研究室	H31~

雇用経済部ものづくり産業振興課執行委任

(施策32201) ものづくり基盤技術の強化・産学官連携の促進			
●文科省事業(エコシステム形成プログラム) ① 深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト事業	深紫外LEDを用いた水産用海水の殺菌について、イセエビの飼育実験系などを用いて実証する。	沿岸資源増殖研究課	H29~R3